

資料No. 2 - 1

湯河原町庁舎のあり方検討基礎調査における前提条件（参考）

○現庁舎の概要

・敷地面積 5,500 m² 延床面積 5,712.89 m²

建物名	建築年 (西暦)	建築年 (和暦)	構造	階数	延床面積 (m ²)
第 1 庁舎	1962	S37	RC 造	地上 4、地下 1	1,836.49
第 2 庁舎	1980	S55	RC 造	地上 3、地下 2	1,849.15
第 3 庁舎	1994	H 6	RC 造	地上 4、地下 1	2,027.25

○庁舎整備を想定した場合の諸条件

・延べ床面積は、特別職、一般職員、会計年度任用職員の合計 174 人に対して、国土交通省、役場機能緊急保全事業、総務省起債対象事業、類似団体事例を参考に 4,000 m²規模を目安として設定している。

・本町には他自治体にはない温泉課があるほか、観光事業にも力を入れていること、また、観光地の特性である交流人口への対応及び広域行政による消防力の確保など、算定基準に含まれない固有の必要面積が別途存在しているため、あくまでも 4,000 m²は現庁舎にある機能をそのまま再整備することを想定した目安であり、仮に消防機能との複合化などの条件により、今後の基本構想・基本計画策定時には必要面積がさらに増加する可能性があります。

・概算事業費は、他自治体の庁舎整備事例や各省庁、団体等によって示されている平均的な事業費等を参考に算出しています。

新築・増築費用	500 千円/m ² (R1～R3)	外構整備費用	35 千円/m ² (H28～R5)
地下駐車場整備費用	250 千円/m ² (R2)	除却費用	30 千円/m ² (H31)
耐震改修+リノベーション	350 千円/m ² (H26)	仮庁舎整備費用	22 千円/m ² ・年 (R4)
大規模改修（建物内駐車場）	150 千円/m ² (H26)	引越し費用	30 千円/人 (R4)

※現段階では正確な全体事業費の算出は困難であり、今後も物価上昇等を理由に、事業費が変動することが想定されるため、今後の基本設計や実施設計を通じて庁舎の規模や機能が明確に具体化された段階で、改めて詳細な事業費を算出することとなります。